

マニュアル等で定められている建築物の解体等現場における石綿測定方法

	アスベストモニタリング マニュアル(第 4.0 版) <環境省>	建築改修工事監理指針 (下巻、平成 22 年版) <国土交通省監修>	既存建築物の吹付けアスベスト粉じん 飛散防止処理技術指針・同解説	JIS K 3850-1 :2006
測定時期 測定場所	1.作業中 集じん・排気装置排気口 セキュリティゾーン入口 作業が実施される施設の直近で、 多数の人の通行等がある場所	参考 1 参照	1.除去作業前 施工区画周辺 敷地境界 作業場内 2.除去作業中 集じん・排気装置排気口 セキュリティゾーン入口 隔離の外側周辺 施工区画周辺 敷地境界 3.除去作業後 作業場内 施工区画周辺 敷地境界	目的に応じて設定
試料採取時間	10 リットル / 分 × 240 分	目的に応じて設定 (参考 2)	-	目的に応じて設定
フィルター径	47mm	25、 47	-	25、 47
分析方法	位相差顕微鏡法 電子顕微鏡法 (位相差顕微鏡法で 1 本 / リットルを超過した場合)	位相差顕微鏡法 位相差 / 分散顕微鏡法 電子顕微鏡法	位相差顕微鏡法 位相差 / 分散顕微鏡法	位相差顕微鏡法 位相差 / 分散顕微鏡法 電子顕微鏡法
評価基準	なし	参考値 (・ 一般環境大気中の石綿濃度。 ・ 特定粉じん発生施設の敷地 境界基準 10 本 / L)	なし	なし

参考1 処理作業におけるアスベスト粉じん濃度測定の区分

測定時期	重要度	測定場所	測定地点 (各処理作業室ごと)	備考
処理作業前		処理作業室内	2又は3点	
		施工区画周辺又は敷地境界	2点	
処理作業中		処理作業室内	2点	
		セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
		負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	1点	除じん装置の性能確認
		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
処理作業後 (隔離シート撤去前)		処理作業室内	2点	
		施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	

：必須 ：条件により必須 ：望ましい

参考2 使用フィルター及び吸引空気量による定量下限の目安

吸引空気量	直径 25mm のフィルター	直径 47mm のフィルター
300L	0.95 本/L	2.4 本/L
600L	0.47 本/L	1.2 本/L
1200L	0.24 本/L	0.6 本/L
2400L	0.12 本/L	0.3 本/L